

図書室だよ！



令和6年7月19日(金)発行
潮来市立潮来第一中学校図書室

豆知識

はつき
【葉月】

一般的には、木の葉の紅葉が進み、葉が落ちる月、「葉落ち月（はおちづき）」が略されたものと言われていいます。また、稲の穂を張る月、すなわち「穂張り月（ほはりづき）」が略されたという説、初めてガンが渡ってくる月であることから「初来月（はつきづき）」を略して「葉月」と呼んだ説などがあります。



りっしゅう
《立 秋》 8/7

二十四節気の一つ、「立秋」。暦の上では、この日から秋が始まります。暑中見舞いもこの日から残暑見舞いになります。平安時代には、風の音で秋に気付いた人もいたとか。暑さの中の秋の気配を探してみませんか？

しよしよ
《処 暑》 8/22

「処暑」は二十四節気の一つで、「暑さがやむ」という意味があります。もちろん、まだまだ暑いのですが、日が落ちると虫の音が聞こえてくるようになります。夏が終わりに近づいています。

☆夏休み、到来☆

早いもので1学期が終わり、いよいよ夏休みを迎えます！今年は44日間もありますが、計画は立てていますか？3年生は、受験に向けてスタートを切る人が多いのではないのでしょうか。2年生は、職場体験学習で貴重な体験をきてください。1年生は中学校初めての夏休み、課題に追われることのないようにしたいですね。それぞれに、有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。

そんな中、読書にも励んでもらえると嬉しいです！夏休みは、自分のために使える時間が増えるので、読書をする絶好の機会です☆1日に数十分でも良いので、読書に時間を充ててみてください。夏休み中に読んだ本も、忘れずに読書記録フォームで入力しましょう(***)

☆読書記録フォーム☆

今年度から、Google フォームを使って読書記録を行っています。1学期は、ここまで67件の入力がありました☆14人の人が入力してくれています。どうもありがとう！県教育長賞・県知事賞をもらえるのは、誰でしょうか！？

☆夏休みの課題に挑戦！☆

夏休みの課題と言えば、定番なのが読書感想文！本を読んだら、印象に残ったことや自分なりに考えたことなどを文章で表現してみませんか？課題図書については☆**オススメの本**☆で紹介しています。悩んでいる人は、課題図書で読書感想文を書いてみては？

【2024年度 課題図書】

「ノクツドウライオウ：靴ノ往来堂」

「希望のひとしづく」

「アフリカで、バッグの会社はじめました：寄り道多め仲本千津の進んできた道」



また、夏休みの自由課題として、市立図書館主催の「ポップコンテスト」を入れました。例年、たくさんの方が参加しています☆ぜひ、多くの方の参加をお待ちしています！同じ作品を使って、紫煌祭のときに「潮来一中ポップコンテスト」も開催予定です！！全校生徒の作品が揃うことを期待しています♪

〔問題〕

シートンが退治しようとしてなかなか成功せず、逆に敬意をもつようになったロボとは、どんな動物？

ア. ウサギ イ. オオカミ ウ. クマ

【前号の答え】ウ. ナポレオン・ボナパルト

1805年のアウステルリッツの戦いの勝利を記念して着工しました。落成したのはナポレオンの死後、1836年7月29日のことでした。



☆オススメの本☆

「ノクツドウライオウ：靴ノ往來堂」

(あすなる書房／刊 佐藤まどか／著)

突然、家業の5代目店主候補だった兄が消えた。シューズデザイナーを夢見ていた夏希は、靴職人として100年続く老舗靴店を継ぐべきか、悩める日々——。そこに、クラスのイヤミ男、佐野宗太がひょんなことから急接近！さて、夏希の運命は……？

祖父の作った靴を持つ人たちにおきた、人生を変えるほどの変化。それは進路に迷う夏希の心を大きく揺さぶる。さわやかな青春物語！



8月の出来事

野菜の日

8月31(土)は、野菜の日。1983年に全国青果物商業協同組合連合会など9団体が、「もっと野菜のことを知ってほしい」「野菜をたくさん食べてほしい」という想いで「8(や)3(か)1(い)」の語呂合わせから制定した記念日です。

野菜が体の調子を整えることは、よく知られていますね。皆さん、野菜は好きですか？野菜を使った料理と言えば、サラダですよね。実は、サラダを食べることが「CO2排出削減」「地産地消」「旬産旬消」につながります。また、サラダで「食品ロスの削減・有効活用」ができます。

この夏、料理の本を見て、野菜料理にチャレンジしてみませんか？意外なおいしさを発見できるかもしれませんよ♪

「希望のひとしずく」

(理論社／刊 キース・カブレゼ／著 代田亜香子／訳)

この町で、ふしぎなことが起きている。古い井戸がいきなり、願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのは、三人の中学生だけ。アーネスト、ライアン、リジーは、世界をよくする方法なんか知らない。だけど世界のかたすみで、みんなに希望をあげることはできる一度にひとつの願いをかなえることで……。



「アフリカで、バッグの会社はじめました」

：寄り道多め仲本千津の進んできた道

(さ・え・ら書房／刊 江口絵里／著)

人の命を救う仕事をしたい、と願いながら、夢をあきらめたり、思いがかなわなかったり。それでも、いつだって彼女は前を向き、歩きつづけました。

アフリカ・ウガンダでバッグ工房を立ち上げて、バッグづくりを通してアフリカ女性を支援する社会起業家・仲本千津さんの、これまでの迷い多き道をたどる“進路決定”ドキュメンタリー。



麦わら帽子は もうきえた
 たんぼの蛙は もうきえた
 それでも待ってる 夏休み
 姉さん先生 もういない
 きれいな先生 もういない
 それでも待ってる 夏休み
 絵日記つけてた 夏休み
 花火を買ってた 夏休み
 指おり待ってた 夏休み
 畑のトンぼはどこ行った
 あの時逃がしてあげたのに
 ひとりで待ってた 夏休み
 西瓜を食べてた 夏休み
 水まきしたって 夏休み
 ひまわり 夕立 せみの声

夏休み

吉田 拓郎

